



特別会計

国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入で、その支出を賄うものです。このように独立して行う事業を特別会計として、一般会計と別に経理しています。

会計	予算額	収入額	支出額
国民健康保険事業	271億1,418万円	246億2,576万円	240億4,618万円
介護保険事業	153億3,147万円	145億3,322万円	137億1,301万円
後期高齢者医療事業	22億3,100万円	21億7,931万円	19億1,718万円
土地取得事業	5億1,650万円	5億1,462万円	5億1,462万円
簡易水道事業	390万円	361万円	257万円



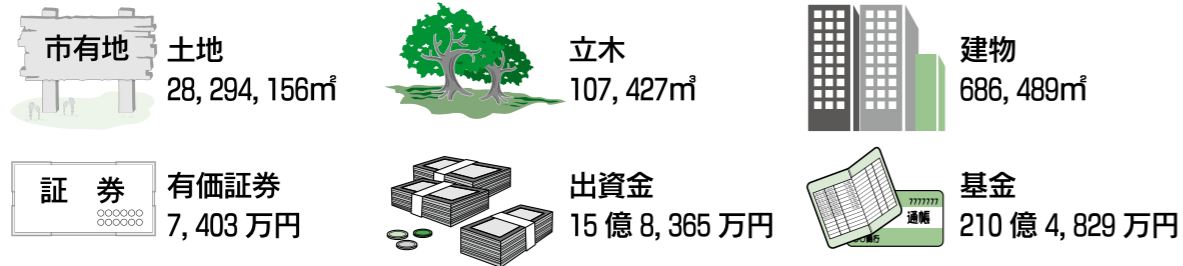
企業会計

病院の診察料や水道料金などの特定の収入を財源とし、独立して行う特別会計の中で、地方公営企業法の適用を受ける会計です。

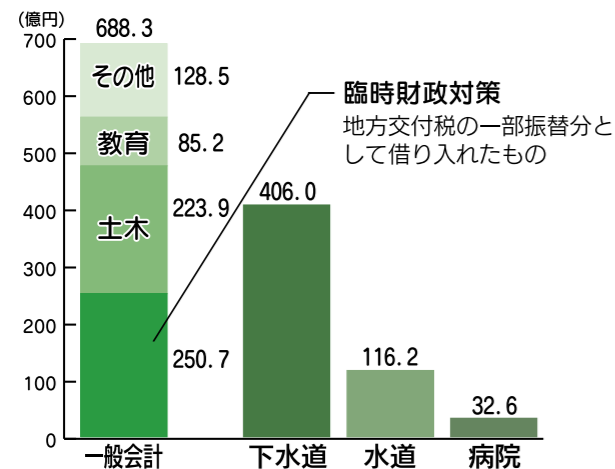
	病院事業会計		水道事業会計		下水道事業会計	
	予算額	執行額	予算額	執行額	予算額	執行額
収益的収入	118億464万円	110億7,559万円	31億3,844万円	31億6,971万円	51億4,960万円	50億3,339万円
収益的支出	117億5,798万円	112億5,644万円	28億255万円	25億413万円	50億6,360万円	48億3,356万円
資本的収入	10億5,000万円	10億1,600万円	8億6,456万円	8億7,418万円	25億6,548万円	20億1,294万円
資本的支出	15億1,202万円	15億687万円	22億8,486万円	20億5,381万円	43億1,651万円	36億9,423万円



市有財産の現在高



市債の現在高



※借り入れた市債は、道路や学校、下水道などの公共施設の建設等に充てられます。その施設が、後世代の市民にも利用されることから、世代間で公平に整備費用を負担するための一つの方法です。

市の借入金の残高は、平成29年3月31日現在、約1,243億1千万円あります。
1人あたりでは一般会計で約34.7万円、企業会計で約28.0万円となります。

※4月1日から5月31日までの2カ月間が出納整理期間(収入・支出を整理する期間)となっていますので、ここでお知らせするものは、最終決算額ではありません。

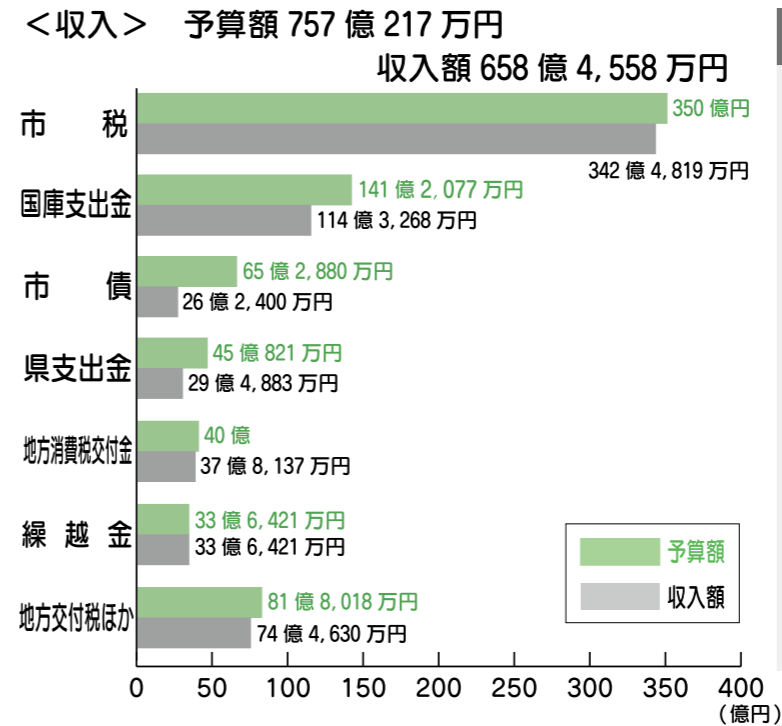
平成28年度の一般会計、特別会計及び企業会計における平成29年3月31日現在の予算の執行状況をお知らせします。

平成28年度 執行状況報告



一般会計

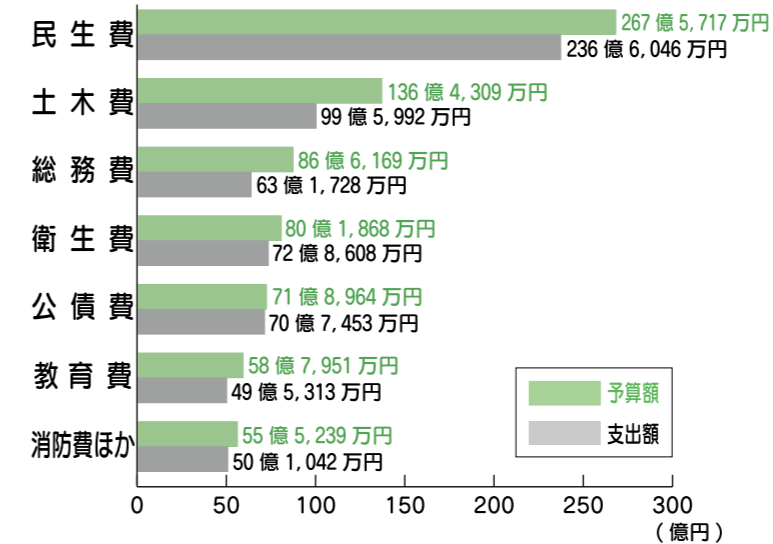
市民税や固定資産税などの市税を主な財源として、市民の皆さんの暮らしに直接関係のある道路や河川の整備、ごみ処理や福祉、教育などの事業を行うための会計です。



用語解説

- 【収入】**
- ▶市税…皆さんが納めた市民税や固定資産税など
 - ▶国庫支出金…国からの補助金や負担金など
 - ▶市債…市が建設事業などの財源に充てるために借り入れる長期の借入資金
 - ▶県支出金…県からの補助金や負担金など
 - ▶地方消費税交付金…消費税のうち国から配分されたお金
 - ▶繰越金…前年度会計から繰り越したお金
 - ▶地方交付税ほか…財源調整などのために国から再配分されたお金など

<支出> 予算額 757億217万円
支出額 642億6,182万円



- 【支出】**
- ▶民生費…子どもや高齢者などの福祉に使うお金
 - ▶土木費…道路や河川整備などに使うお金
 - ▶総務費…市役所の経営管理、戸籍の管理、選挙などに使うお金
 - ▶衛生費…保健やごみ処理などに使うお金
 - ▶公債費…借り入れた地方債(市債)の返済金(元金と利子)など
 - ▶教育費…学校・生涯教育、文化・スポーツ振興に使うお金
 - ▶消防費ほか…消防車両の維持や防災資機材の整備など、その他に使うお金

平成29年3月31日現在、予算額757億217万円に対し、収入率は87.0%、支出率は84.9%となっています。

予算の執行状況をお知らせします

